

1 自ら学ぶ意欲づくり

基本的な方向

- ・情報通信分野における技術の高度化や機器の普及が急速に進み、私たちの生活や経済活動において、情報の持つ役割がますます大きくなっている。
- ・さまざまな情報が氾濫するなか、亀岡らしい個性ある情報を蓄積するとともに、その情報を人と人とのふれあいを基本として適切に提供する体制づくりを進める。
- ・また、情報機器を通じた学習の機会づくりと、情報機器の普及や高度化などに対する知識や技術習得に向けて市民自らが主体的に学ぶ機会づくりに努める。

推進施策

(1) 広報・啓発の充実

- ①広報活動の充実
- ②亀岡生涯学習賞の充実
- ③生涯学習関連事業の開催・誘致
- ④行政職員意識の醸成

(3) 学習機会の情報提供

- ①学習ニーズの把握
- ②情報提供・学習相談機能の充実

(2) さまざまな情報の蓄積と発信

- ①学習活動にかかわる情報の受発信
- ②多様な学習関連団体のネットワーク化の促進

重点事業

- ◆多様な主体が情報を共有できる環境づくり
- ◆亀岡生涯学習賞をはじめとする生涯学習事業の充実
- ◆学習関連団体のネットワーク化の促進
- ◆市民の学習ニーズの調査把握

実績と課題

- 関係団体や後援団体の事業を市の広報誌、ホームページ、LINEなどに掲載し広報している。
市広報誌は令和3年7月でお知らせ版（月2回発行）の廃止、広報誌のリニューアルを実施し、市ホームページは令和3年10月にリニューアルを実施している。
- 生涯学習賞（令和2年度ゆう・あい賞受賞者、令和3年度大賞受賞者の記念講演（コレージュ・ド・カメオカ）が、新型コロナウイルス感染症対策として、令和4年度に延期したため、令和4年度は募集していない。）
記念講演（コレージュ・ド・カメオカ）については、オンライン配信を併用して開催した。
- 平成23年度のアンケート調査以降、学習ニーズの把握ができていない。

2 楽しく学べる学習機会の充実

基本的な方向

- ・本市では、全国に先駆けて「生涯学習のまちづくり」を標榜し、市民、関連団体、行政が一体となって、その推進に努めてきた。その成果として、学習活動に対する市民の意欲は高く、また、市民主体の生涯学習活動が活発に展開されている。
- ・今後はさらに多様化・高度化する学習ニーズに的確に対応するとともに、参加する人の層を広げていくため、運営・参加して楽しいと感じられる学習機会を効率的・効果的に提供する。

推進施策

(1) 生涯を通じた学習機会の充実

- ①三大シンボル講座の運営の効率化
- ②新たな生涯学習機会の提供
- ③出前講座等の開催
- ④協働による多文化共生のまちづくり

(3) 大学、企業との連携による学習機会の充実

- ①相互連携の強化
- ②社会人学習の推進

(2) 次代を築く学習活動の創出

- ①市民まちづくり活動の支援

重点事業

- ◆三大シンボル講座をはじめとする生涯学習機会の充実
- ◆多様化する地域の実情の把握と課題解決に向けた協力体制の構築
- ◆市民活動の支援と市民へのPR
- ◆大学・企業との連携による学習活動の促進

実績と課題

- 令和2年度、令和3年度、三大シンボル講座をはじめ多くの事業が新型コロナウイルス感染症対策として、開催を見送っていた。令和4年度は、感染症対策を実施しながら、開催できている。また、コレージュ・ド・カメオカについては、オンライン配信を併用して開催し、多様な学習機会を提供できた。
- 市民活動を支援するため、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を交付している。
支援金交付団体 令和2年度3団体、令和3年度8団体、令和4年度10団体
- 京都府立大学の地域貢献型研究テーマの募集等、市役所内に照会しているが、利用実績はない。

3 充実した学習基盤の活用

基本的な方向

- ・生涯学習施設の一つである「ギャラリーかめおか」は、本市の生涯学習推進に大きな役割を担っている。
- ・今後は、生涯学習関連施設のバリアフリー化や長寿命化などの施設整備・充実に努める。あわせて、ギャラリーかめおかを中心に、市内の生涯学習施設を効果的に活用するとともに、市域のどこでも高度な学習活動に参画できるよう、施設相互のネットワークの強化を図る。
- ・また、社会経済環境の変化に伴う学習ニーズの多様化に対応し、本市の個性・独自性のある情報を発信する魅力的な学習施設の充実に努める。

推進施策

(1) 身近な学習基盤の充実

- ① ギャラリーかめおかの機能整備
- ② 地域生涯学習施設の効果的な活用
- ③ かめおか市民活動推進センターのニーズに合わせた強化と見直し

(2) 個性ある学習基盤の整備

- ① 地域の特色ある学習環境の整備
- ② 余裕施設の効果的な活用の推進

(3) 生涯学習施設のネットワーク化

重点事業

- ◆既存施設の適正な管理・長寿命化と効果的な活用の推進
- ◆中間支援団体としてのかめおか市民活動推進センターの機能強化
- ◆地球環境子ども村事業・梅岩の里生誕地整備事業の推進

実績と課題

- ギャラリーかめおかの管理運営は、平成18年度から指定管理者制度を導入し適正な運営を図っている。令和2年度までは、公益財団法人 生涯学習かめおか財団が指定管理者。令和3年度からは、一般社団法人 かめおかコンベンションビューローが指定管理者。
- 長寿命化について、令和2年度に設計、令和3年度に屋上防水、井水ポンプ改修や電気設備周辺の改修等、施設全般に影響する箇所の改修を行った。令和4年度は大広間改修等の設計を実施。
- 地球環境子ども村事業の亀岡生き物大学は、令和2年度、令和3年度と募集を中止、令和4年度は開催できた。
亀岡生き物大学特別講座は、令和2年度、令和3年度も実施しています。
- 梅岩の里生誕地整備事業は、ふるさと納税を財源として実施するが、物価高騰等により財源不足のため、別の財源確保も含めて、検討を進めている。

4 次代を担う人材・指導者の育成

基本的な方向

- ・市民が主体となって、より充実した生涯学習への参加機会を創出し、取組を継続していくためには、それを支え、リードする人材、指導者が必要。
- ・これまでの学習活動などの取組を通じて、強い意欲と高い見識を持った人材や団体・組織をより多く育成していく。
- ・一方、少子高齢化や地域社会の多様化、災害の多発化など、取り巻く環境が大きく変化しつつある中で、青少年、子どもの育つ環境を充実したものにするため、学校教育や社会教育の充実に努め、生涯にわたって自ら学び続けられる基礎的な力と、豊かな心を持った青少年・子どもを育成する。

推進施策

(1) 学習活動を支える人材育成と活性化

- ①生涯学習ボランティアの育成
- ②指導者・リーダーの育成
- ③地域資源の活用と災害への対策
- ④人材の地域参加と活用

(2) 学習団体の育成と活性化

- ①市民組織の育成と活動の活性化
- ②活動団体の連携・交流の場づくり

(5) 市民協働の推進

- ①協働による学習・まちづくり活動の推進
- ②協働を促進・支援する仕組みの充実

重点事業

- ◆ガレリアかめおか人材バンクの充実
- ◆地域学習や防災・減災への取組の推進
- ◆市民協働の推進

実績と課題

- ガレリアかめおか人材バンクは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、活動を制限している登録者も多く、利用実績がない。
- 新たな人材の発掘や活動団体の連携・交流を目的として、フォーラム等を開催している。
- 令和4年度に市民活動への支援として、従来の亀岡市支えあいまちづくり協働支援金に加えて、新たにふるさと納税制度を活用した「ふるさと亀岡まちづくり応援交付金」を創設した。
令和4年登録団体6団体、令和5年登録団体8団体
また、市ホームページや楽天ふるさと納税サイトなどで制度の周知に努めている。
- 令和3年度、令和4年度に地域の防災・減災に取り組む市民活動団体に対して、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を交付した。

5 学習社会を支える仕組みづくり

基本的な方向

- ・学習活動はそれ自体が大きな目的であり、目標となるものだが、さらに一歩進んで、その活動がまちづくりに貢献したり、新たな資格の取得や事業化へと進んだりすれば、参加・参画する意欲がさらに高まることが期待される。
- ・このため、これからの生涯学習活動において、学習の成果が社会的に還元され、さらに新たな学びにつながる仕組みづくりに努める。
- ・また、本市における生涯学習活動がさらに多くの市民に広まり、さまざまな事業が市民の主体的な取組のもと、積極的に展開される推進体制を市民、企業、行政が一体となってつくりあげていく。

推進施策

(1) 学習成果が生きる仕組みづくり

- ①学習成果を活かして地域で活躍する仕組みの構築
- ②ギャラリーかめおか人材バンクの有効活用
- ③地域、大学、企業との連携による学習成果のまちづくりへの活用

(3) 市民の主体的活動の促進

- ①市民主体のプログラム運営の促進
- ②市民提案・企画の募集
- ③市民生涯学習活動への支援

(2) 生涯学習推進体制の充実

- ①企業の協力体制の確立
- ②生涯学習推進組織の活性化
- ③高等教育機関との連携の強化

重点事業

- ◆ギャラリーかめおか人材バンクの活用
- ◆学生・企業の生涯学習活動への参加促進
- ◆市民の主体的な学習活動の支援

実績と課題

- 京都芸術大学の学生等と連携して、「かめおか霧の芸術祭」各種事業を実施している。
- 市民による運営委員会方式で、亀岡生涯学習市民大学が運営されており、引き続き市民の主体的な運営を支援する。
- 生涯学習かめおか財団において、市民の自発的・積極的に行われる生涯学習活動を支援する目的で、生涯学習事業助成金を交付し、支援している。